

授業の心理学 指導案

テーマ：バーナム効果

1、本時のねらい

バーナム効果について知り、自分や他人の性格や考え方を占い等で決めつけないで、自分で判断することの大切さを知る。

2、展開の視点

- ・実際に血液型-性格診断検査を行い、結果が「自分にあてはまっている」と思わせる。
- ・自分の血液型と性格診断結果が関係ないことを知る。
- ・以上を踏まえて「バーナム効果」について知り、今までの自分を見直し、これからの自分に活かせるよう促す。

3、本時の展開

授業者：中村・岩本

	活動内容	教師の支援
導入	・ 占いや性格判断について、普段どのように感じているか話す。	○ 占いや性格判断の本や雑誌の特集等を提示する。
展開	・ 血液型-性格判断検査をする。 ・ 結果を知る。 ・ 「バーナム効果」について知る。 ・ 「どうしてバーナム効果が起こってしまうのか」について知る。	○ 実際に性格判断検査を一人一人行なう。 ○ A,B,O,AB 型それぞれがランダムに配置されていたことを明らかにする。 ○ 診断結果が思い込みの影響があったことを知る。 ○ 「バーナム効果とは、誰にでも該当するような曖昧で一般的な性格をあらわす記述を、自分だけに当てはまる正確なものだと捉えてしまう心理学の現象」だということを説明する。 ○ 占いなどには、誰にでも該当するような曖昧で一般的な性格をあらわす記述があること、加えて「あなたは…」などという、読み手だけを限定したかのような記述があることから、多くの人が『当たっている!』と思ってしまうことを、資料を用いて例を挙げながら説明する。 ○ 「バーナム効果がなぜ起こってしまうのか」の内容についてまとめた資料を配布してわかりやすいようにする。

終末	・感想を発表する。 ・占い等を見るときに注意点や意識することを確認する。	○これまでの流れの感想を何人かに発表させる。 ○最後に、占い等を見るときにバーナム効果の影響を受けることもあるため、それを踏まえて占い等を楽しむようにアドバイスする。
----	---	--

・本時の授業で使用した資料

参考

究極の血液型心理検査(2008.1.16) <http://www.senrigan.net/bloodmind/index.html>

Wikipedia(2008.1.16):バーナム効果 <http://ja.wikipedia.org/wiki/>

メモログ(2008.1.21):バーナム効果 http://memolog.org/2005/11/post_118.html

引用

「血液型-性格判断検査」(2007 年度上越教育大学「認知心理学」の講義にて配布された資料)

「キャラ石を味方につけて恋力 UP 動物キャラナビで占うクリスマスまでの恋愛大予測」(集英社,2007,non-no, 22 号,p110)

「Soup.の超具体的星占い」(株式会社インデックスコミュニケーション,2008,Soup.,77号,p232)

「2008 とっておき LOVE 占い」(日之出出版,2008,SEDA,195 号,p83)